

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍のため、対面での会議開催を見合わせており、運営推進会議が書面での一方的な情報発信で終わっている。サービス内容の報告だけでなく、サービスの質の確保のためにも委員の皆様からの意見聴取の手段を検討する必要がある。	①運営推進会議の開催方法を再検討する。 ②書面開催となった場合、委員からの意見聴取の手段を検討し、今年度より実施する。 ③多くの意見をいただき、当所のサービス向上に活かす。	①運営推進会議の年間計画を立てる ②令和4年度第1回会議で年間計画を発表する ③熊本県・市から発令される感染対策を遵守しながら適切な会議開催の方法を検討する ④書面開催となった場合は返信用封筒を同封し、意見・助言を求める ⑤いただいた意見等は、職員会議などを通して全職員で共有し、改善策を意見交換する	①達成済 ②1ヶ月 ③1年継続 ④1年継続 ⑤1年継続
2	35	コロナ禍のため、施設内での自主訓練のみとなった。年2回実施したものの、昼間を想定した訓練のみで、やかんを想定した防災訓練を実施する必要がある。また、自然災害については危機意識は薄かったため、全ての災害に対して安心・安全のため万全の準備を整える。	①年2回の防災訓練を実施する。 ②新しく防火・防災管理者を育てる。 ③自然災害についても対策を講じる。	①今年度1回は夜間想定での防災訓練を実施する (状況を見て、消防署立ち会いもしくは自治会と協力して行う) ②担当者を防火・防災管理者講習会の受講ができるように勤務等配置する ③自然災害については机上訓練等で職員の意識強化を図る ④備蓄は食料・飲料水のみでなく、排泄用品(紙おむつ等)や、感染グッズも十分に確保する	①②12ヶ月 ③④3ヶ月
3	1	開設後7年が経過し、職員の入れ替わりもあっているため、朝礼での理念の唱和のみで、理念の振り返りができていない。	①理念の振り返りの機会を作る。 ②理念を一人一人が実践できる。	①職員会議で理念について学ぶ機会を設ける。また理念への共感を得るために日々の仕事に紐付けて発信する ②理念の実践状況を人事や評価制度に取り入れる。また、管理者が理念の有言実行をやってみせる。	①②6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。